

市民アンケート調査

市民の皆様へ

日ごろ、あきる野市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
市では、市民の皆様が市の事業にどの程度満足されているか、また、何を重要と感じているかなどを把握するため、「市民アンケート調査」を行っています。

このアンケートは、令和6年6月1日現在で満18歳以上の市民のうち、年齢、居住地等を考慮し無作為抽出した2,500人を対象に実施しております。回答は無記名式となっておりますので、安心してお答え下さい。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力をお願い申し上げます。

令和6年7月

あきる野市長 中 嶋 博 幸

■ ご回答にあたってのお願い ■

○封筒のあて名となっているご本人様が、以下のいずれかの方法によりご回答ください。

【郵送による回答】

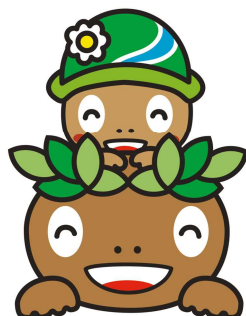
・同封の返信用封筒にアンケート用紙を入れ、**8月13日（火）までに**ポストに投函してください。

【インターネットによる回答】

・記載のQRコードのサイトから、**8月13日（火）までに**お答えください。
回答に当たっては、以下の回答者IDを入力してください。

・回答者ID： R6AKIRUNO

よろしく
お願いします!!



<https://logoform.jp/form/KPgT/635027>

【問合せ先】

あきる野市役所 企画政策部 企画政策課
住 所 あきる野市二宮350番地
電 話 (042) 558-1261 (直通)

はじめに、あなた自身のことをお伺いします。

問1 あなたの性別をお答えください。(該当するもの1つに○) ※回答は任意です。

- | | | | |
|------|------|--------|----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 | 4. 回答しない |
|------|------|--------|----------|

問2 あなたの年齢をお答えください。(該当するもの1つに○)

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18歳、19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70歳以上 |

問3 ご家族の構成をお答えください。(該当するもの1つに○)

- | | | |
|-----------------|-------------|----------------|
| 1. 夫婦 (子どもはいない) | 2. 親子 (2世代) | 3. 親・子・孫 (3世代) |
| 4. 単身 | 5. その他 () | |

【問3で「1」「2」「3」または「5」のいずれかと答えた方にお聞きします】

問3-1 あなたの同居の家族 (あなたは除く。) に次の方はいますか。(該当するものすべてに○)

- | | | | |
|-----------------------|--------|------------|---------------|
| 1. 乳幼児 (0歳から小学校就学前まで) | 2. 小学生 | 3. 中学生 | |
| 4. 高校生 | 5. 大学生 | 6. 65歳以上の方 | 7. いずれにも該当しない |

問4 あなたのあきる野市における居住年数をお答えください。(該当するもの1つに○)

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～2年未満 | 3. 2～5年未満 |
| 4. 5～10年未満 | 5. 10～15年未満 | 6. 15～20年未満 |
| 7. 20年以上 | 8. 生まれてからずっと | |

【問4で「1～7」のいずれかと答えた方にお聞きします】

問4-1 あなたの居住歴をお答えください。(該当するもの1つに○)

- | |
|--|
| 1. あきる野市から東京都内に転出し、あきる野市内に戻ってきた。(Uターン) |
| 2. あきる野市から東京都外に転出し、あきる野市内に戻ってきた。(Uターン) |
| 3. 東京都内 (あきる野市を除く。) からあきる野市内に転入してきた。 |
| 4. 東京都外からあきる野市内に転入してきた。 |

問5 あなたの勤務先や通学先をお答えください。（該当するもの1つに○）

1. 自宅	2. あきる野市内	3. 東京都内（ 区・市・町・村）
4. 東京都外（ 県）	5. その他（ ）	

問6 あなたのお住まいの地区はどこですか。（該当する大字名1つに○）

・雨間	・野辺	・小川	・小川東1～3丁目	・二宮	・二宮東1～3丁目	・平沢
・平沢東1丁目	・平沢西1丁目	・切欠	・草花	・菅生	・瀬戸岡	・原小宮
・原小宮1～2丁目	・引田	・渕上	・上代継	・下代継	・牛沼	・油平
・秋川1～6丁目	・秋留1～5丁目	・山田	・上ノ台	・網代	・伊奈	・横沢
・三内	・五日市	・小中野	・小和田	・留原	・高尾	・館谷
・館谷台	・入野	・深沢	・戸倉	・乙津	・養沢	

あきる野市の施策についてお伺いします。

問7 市では、次に示す40の施策に取り組んでいます。次の1から40の各項目の満足度と重要度についてどのように感じていますか。以下の凡例から、それぞれ最も近いものを選び、1～6の数字をご記入ください。

満 足 度 【凡例】						重 要 度 【凡例】					
満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	まあ重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

（満足度と重要度のそれぞれに1～6の数字をご記入ください）

(満足度と重要度のそれぞれに1～6の数字をご記入ください)			満足度	重要度
施策	施策の内容	(記入例) →	5	1
1 計画的な土地利用の推進	・ 計画的な市街地形成や自然環境等に優れた区域の開発抑制など、地域の特性に応じた土地利用			
2 良好な市街地の整備	・ 土地区画整備事業による新市街地の形成、空き家等の既存ストックの有効活用			
3 緑豊かな都市環境の形成	・ 生物多様性あきる野戦略を踏まえた緑の確保、魅力ある景観づくり、公園・緑地の整備保全			
4 道路の整備	・ 安全で快適な通行空間を確保するための道路施設の整備・維持管理の推進			
5 公共交通体系の整備	・ 公共交通機関の利便性の向上、地域に適した公共交通の整備等、利用促進に向けた意識啓発			
6 下水道の整備	・ 下水道等の整備事業の推進、下水道施設の維持管理			
7 地域特性を活かした産業振興の推進	・ 圏央道の整備効果等を生かした企業立地の推進、市街地や自然に配慮した立地環境の整備			
8 活力ある商工業の振興	・ 商工業者の人材の確保や事業承継等の支援、起業・創業の支援、商店街の活性化支援			

9 <u>地域特性を活かした観光の振興</u>	・秋川渓谷の魅力のSNS等による発信、観光駐車場・観光ルート等の整備		
10 <u>消費者志向に合わせた都市型農業の推進</u>	・農産物直売所の充実や新たな販路の拡大、農産物のブランド化の推進		
11 <u>健全な森林の育成・自然と調和した林業の育成</u>	・土砂流出の防止等の公益的機能増進を図るための森林施業の推進、多摩産材の利用拡大の推進		
12 <u>地域コミュニティの活性化</u>	・町内会・自治会への加入の促進、活動の支援、地域コミュニティ団体への支援		
13 <u>多文化共生社会の推進</u>	・外国人にやさしいまちづくりの推進、国際姉妹都市マールボロ市との交流活動の推進		
14 <u>防災・消防対策の推進</u>	・災害に強いまちづくりのための防災意識の向上、地域ぐるみの活動への支援		
15 <u>防犯対策の推進</u>	・安心・安全なまちづくりのための防犯意識の向上、地域の防犯力を高める啓発活動		

満足度【凡例】					
満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

重要度【凡例】					
重要	まあ重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
1	2	3	4	5	6

(満足度と重要度のそれぞれに1～6の数字をご記入ください)

			満足度	重要度
施策	施策の内容	(記入例) →	5	1
16 <u>交通安全の推進</u>	・交通事故防止のための交通安全運動等の啓発活動や講習会の実施			
17 <u>公害防止の推進</u>	・公害に関する知識の普及と啓発の推進、公害の未然防止・早期対応の推進			
18 <u>ごみの減量化と適正処理の推進</u>	・ごみの減量化やリサイクルの促進、きれいなまちをつくるための市内一斉清掃の実施			
19 <u>水と緑に密着した生活環境づくりの推進</u>	・河川環境や生物多様性の保全、郷土の恵みの森づくりの取組などによる水と緑の保全			
20 <u>健康づくり・予防体制の充実</u>	・各種健康診査や予防接種、健康相談の実施、地域での健康づくり活動の支援			
21 <u>市民が安心できる地域医療体制の充実</u>	・適切な医療を受けるための地域医療体制の整備、救急医療体制や休日診療の充実			
22 <u>子ども・子育て支援の充実</u>	・幼児教育・保育の充実、学童クラブ等による放課後の活動支援、子育て家庭への支援の充実			
23 <u>障がい者が安心して生活できる支援の充実</u>	・障害や障がい者に関する理解の促進、地域における自立生活への支援、就労等の社会参加支援			
24 <u>高齢者が安心して生活できる支援の充実</u>	・健康づくりと介護予防・フレイル予防の推進、多様な社会参加・生きがいづくりの促進			
25 <u>地域福祉の推進</u>	・生活困窮者に対する相談・支援等の充実、成年後見制度の利用促進、ボランティア活動の支援			
26 <u>人権尊重の推進</u>	・人権尊重の意識を向上するための啓発、学校におけるいじめ防止や人権教育の推進			

27 <u>男女共同参画社会の実現</u>	・男女共同参画社会の実現に向けた情報提供や意識啓発、フォーラムの開催		
28 <u>生涯学習の推進</u>	・中央公民館やあきる野ルピア、図書館等における生涯学習活動の支援や各種講座の実施		
29 <u>青少年の健全育成の推進</u>	・青少年の健全育成のための教育相談の充実、放課後子ども教室の実施等による教育環境の充実		
30 <u>学校教育の充実</u>	・児童・生徒の個性を生かす学校教育の充実や特色ある学校づくりの推進		
31 <u>デジタル化に対応した学校教育の推進</u>	・各学校の創意工夫によるICT教育の充実、学校ICT環境の整備		
32 <u>芸術文化活動の推進</u>	・芸術鑑賞や芸術文化の学習機会の提供、芸術文化活動の支援、市民文化祭の実施		
33 <u>文化財の保護と活用</u>	・地域に残る歴史的に価値のある文化財（建造物、古文書、民俗芸能、史跡等）の保護と活用		

満足度【凡例】					
満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	わからない
1	2	3	4	5	6

重要度【凡例】					
重要	まあ重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
1	2	3	4	5	6

（満足度と重要度のそれぞれに1～6の数字をご記入ください）

			満足度	重要度
施策	施策の内容	（記入例）→	5	1
34 <u>スポーツ・レクリエーションの推進</u>	・各種スポーツ関連施設の運営、スポーツ教室の実施、市の特性を生かしたスポーツの推進			
35 <u>財政運営の健全化</u>	・事務の効率化等による市民サービスの向上、積極的な財源の確保等による歳出抑制の取組			
36 <u>ICT（情報通信技術）の利活用の推進</u>	・AI・RPA等のICTの有効活用による業務効率化、行政手続のオンライン化の推進			
37 <u>職員の活性化</u>	・様々な行政課題の解決に取り組む柔軟な発想と高い能力を有する職員の育成			
38 <u>市民との協働によるまちづくりの推進</u>	・市民や市民組織等と行政との連携、市長への手紙等の広報・広聴活動の充実、市政情報の発信			
39 <u>広域行政の推進</u>	・広域的な行政ニーズに対応するための西多摩地区での広域的組織を通じた自治体間の連携強化			
40 <u>議会の円滑な運営</u>	・開かれた議会を目指した議会だよりの発行、ホームページでの会議録等の公開や録画配信			

あきる野市に対する考えについてお伺いします。

問8 あなたは、今後あきる野市に住みたいですか。（該当するもの1つに○）

1. 今の地域に住みたい	2. 市内の別の地域に住みたい	
3. 東京都内の他の区市町村に移り住みたい	4. 都外に移り住みたい	5. わからない

【問8で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

問8-1 あきる野市に住み続けたい主な理由は何ですか。（該当するものに3つまで○）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 生まれ育った故郷であるため | 2. 家族や親類が住んでいるため |
| 3. 親しい友人・知人が多いため | 4. 土地・家などがあるため |
| 5. 職場が近いため | 6. 自然環境に恵まれているため |
| 7. 交通の便が良いため | 8. 日常の買い物が便利のため |
| 9. 生活環境が整備されているため | 10. 子どもの保育・教育に適しているため |
| 11. その他（ ） | |

【問8で「3」または「4」と答えた方にお聞きします】

問8-2 あきる野市に住み続けたくない主な理由は何ですか。（該当するものに3つまで○）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 家族や親類がいないため | 2. 親しい友人・知人がいないため |
| 3. 職場が遠いなど仕事上の事情があるため | 4. 交通の便が良くないため |
| 5. 日常の買い物が不便なため | 6. 生活環境が整備されていないため |
| 7. 子どもの保育・教育が心配なため | 8. 他に住みたいまちがあるため |
| 9. その他（ ） | |

問9 あきる野市内で住み替えるとしたら、どのような地域に住みたいですか。（該当するもの1つに○）

A地域	Aに近い	ややAに近い	どちらとも いえない	ややBに近い	Bに近い	B地域
・ 駅、バス停に近く、主たる移動手段は徒歩である。 ・ 商業施設等がすぐ近くにある。 ・ 住宅が多く、自然は少ない。 ・ 休日に近くでショッピングや食べ歩きを楽しめる。	1	2	3	4	5	・ 主たる移動手段は車である。 ・ 商業施設等には一定の距離がある。 ・ 住宅は少なく、自然が多い。 ・ 休日に近くで川遊びやハイキングを楽しめる。

問10 あきる野市内で住み替えるとしたら、どのような家族形態が良いと思いますか。

（該当するもの1つに○）

- | | | |
|---------------------|-----------------|----------|
| 1. 親や子どもの世帯と一緒に住みたい | 2. 自らの世帯のみで住みたい | 3. わからない |
|---------------------|-----------------|----------|

問11 あきる野市内で住み替えるとしたら、どのような家に住みたいですか。（該当するもの1つに○）

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1. 一戸建（持ち家） | 2. 一戸建（借家） | 3. 集合住宅（分譲） |
| 4. 集合住宅（借家） | 5. その他（ ） | |

今後のあきる野市のまちづくりの方向性について伺います。

問12 あなたは、市民委員やワークショップへの参画などにより、まちづくりにどの程度関わっていきたいですか。（該当するもの**1つ**に○）

1. まちづくりに対して、積極的に参画していきたい
2. まちづくりに対して、状況に応じて参画していきたい
3. まちづくりに対して関心はあるが、具体的な参画は考えていない
4. まちづくりに対してあまり関心がなく、具体的な参画は考えていない
5. まちづくりに対して関心がない

問13 あきる野市をどんなまちにしたいと思いますか。(該当するものに3つまで○)

1. 都市基盤整備の進んだまち
2. 景観のよいまち
3. 交通が便利なまち
4. 産業活動の盛んなまち
5. 観光やレジャーの充実したまち
6. 災害に強く安全に住めるまち
7. 緑と水が豊かなまち
8. 高齢者や障がい者にやさしい福祉のまち
9. 保健・医療の充実したまち
10. 子どもを育てるのに適したまち
11. 市民文化の豊かなまち
12. 若者が定住したくなるまち
13. 教育環境の充実したまち
14. 歴史と伝統を大切にするまち
15. 行政サービスが迅速に提供されるまち
16. 市政情報をわかりやすく提供するまち
17. 市民参加の進んだまち
18. その他（ ）

「三世代同居・近居・隣居の状況や意識」についてお伺いします。

三世代世帯とは、祖父母、世帯主の父母（または世帯主の配偶者の父母）、世帯主（または世帯主の配偶者）、子（または子の配偶者）および孫の直系世代のうち、3つ以上の世代が同居している世帯のことを言います。（例：自分、妻、自分の親、自分の子によって構成する世帯）

三世代同居とは、上記の3つ以上の世代がひとつの住宅に住んでいることです。

三世代同居とは、上記の3つ以上の世代が近い距離に住んでいることです。

※近居とは、住居は異なるものの、日常的な往来ができる範囲に居住することを指します。ここでは具体的には、同一中学校区内程度とする（約6キロメートル以内。車で15分以内程度。）。

三世代隣居とは、上記の3つ以上の世代が隣同士あるいは、ごく近くのところに住んでいることです。

問14 あなたは、三世代同居・近居・隣居をしていますか。(該当するもの1つに○)

1. 同居している 2. 近居している
3. 隣居している 4. 同居・近居・隣居いずれもしていない

【問 14 で「1～3」と答えた方にお聞きします】

問 14-1 三世代同居・近居・隣居しているきっかけは何ですか。(該当するもの 1つ に○)

1. 結婚前から同居しており引き続き同居している
2. 結婚をきっかけに同居・近居・隣居した
3. 子どもの誕生をきっかけに同居・近居・隣居した
4. 就業をきっかけに同居・近居・隣居した
5. 介護が必要になったため同居・近居・隣居した
6. 住宅の購入をきっかけに同居・近居・隣居した
7. その他 ()

【問 14 で「4」と答えた方にお聞きします】

問 14-2 あなたは、三世代同居・近居・隣居に魅力を感じますか。(該当するもの 1つ に○)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 同居することに魅力を感じる | 2. 近居することに魅力を感じる |
| 3. 隣居することに魅力を感じる | 4. 同居・近居・隣居のいずれにも魅力を感じない |

【問 14-2 で「1～3」と答えた方にお聞きします】

問 14-3 三世代同居・近居・隣居に魅力を感じると答えた理由は何ですか。(該当するもの 1つ に○)

- | | | |
|------------------|-------------------|---------|
| 1. 子どもの面倒を見てもらえる | 2. 祖父母・孫のふれあいが増える | |
| 3. 子育ての悩みを相談できる | 4. 子育ての孤独感が軽減される | |
| 5. 共働きがしやすくなる | 6. 家事負担が軽減される | |
| 7. 経済的負担が軽減される | 8. 老後の安心感が得られる | 9. 特にない |
| 10. その他 () | | |

「防災に関する意識」についてお伺いします。

問 15 ご家庭で、地震や風水害などの災害に対して、どのような備えをしていますか。
(該当するもの すべて に○)

- | | | |
|-------------------|--------------------------|----------------------|
| 1. 家族との連絡方法を決めている | 2. 家族の集合場所を決めている | |
| 3. 家具類の転倒・落下防止対策 | 4. 家屋の耐震化 | 5. 水や食料などの非常食や日用品の備蓄 |
| 6. 住宅用火災警報器の設置 | 7. ハザードマップで地域の危険箇所を事前に確認 | |
| 8. 何もしていない | 9. その他 () | |

問16 東日本大震災や能登半島地震のような大規模な災害が発生した場合、防災情報を主にどのような方法で入手することを想定していますか。(該当するものに2つまで○)

- | | | |
|--------------------------------|-------------|------------------|
| 1. 防災行政無線 | 2. 市のホームページ | 3. あきる野メール配信サービス |
| 4. SNS (X (旧ツイッター) やフェイスブックなど) | 5. テレビ | |
| 6. ラジオ | 7. 新聞 | 8. その他 () |

問17 ご家庭で、災害に備えて何日分の食料、飲料水(1人1日あたり3L目安)を備蓄していますか。(該当するもの1つに○)

- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|------------|
| 1. 4日以上 | 2. 3日分 | 3. 2日分 | 4. 1日分 | 5. 備蓄していない |
|---------|--------|--------|--------|------------|

問18 災害時にトイレが使用できなくなった場合の備えとして、携帯トイレ(1人あたり:1日5回目安)や凝固剤を備蓄していますか。(該当するもの1つに○)

- | | | | |
|---------|----------|---------|------------|
| 1. 3日以上 | 2. 1~2日分 | 3. 1日未満 | 4. 備蓄していない |
|---------|----------|---------|------------|

問19 次の防災訓練や防災講習会等に参加したことはありますか。(該当するものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自治会・町内会が行う防災訓練 | 2. 地域や職場で行う防災訓練 |
| 3. 市や消防署が行う防災訓練や講習会 | 4. 民間企業が行う防災訓練や講習会 |
| 5. 参加したことがない | |

【問19で「5」と答えた方にお聞きします】

問19-1 参加したことがない理由は何ですか。(該当するもの1つに○)

- | | | |
|---------------|-----------------|-------------------|
| 1. 興味・関心がないため | 2. 時間の都合がつかないため | 3. 面倒くさいため |
| 4. 参加しづらいため | 5. 参加方法がわからないため | 6. 訓練があることを知らないため |
| 7. その他 () | | |

「消防団」についてお伺いします。

消防団は、本業の傍ら、地域で発生した火災をはじめ各種災害への対応、火災予防の啓発など、自分の住むまち・働くまちを自分の手で守る、地域に根ざした市が設置する防災組織です。
近年、様々な災害が日本各地で発生しており、その対応に消防団の姿も多く見られています。
※対象年齢は18歳から40歳までの方です。

問20 消防団員について、知っていることは何ですか。(該当するものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 非常勤公務員であること | 2. 年額報酬や出動に対して手当が支払われること |
| 3. 退職報奨金制度があること | 4. 活動中のけがなどに対して補償制度があること |
| 5. 火災の消火活動を行うこと | 6. 災害時の避難誘導を行うこと |
| 7. 火災予防等の啓発活動を行うこと | 8. 各種訓練を行うこと |

9. 活動服等が支給されること	10. 団員数が減少傾向にあること
11. すべて知らない	12. その他 ()

問 21 消防団にご自身が加入したい、または、ご家族を加入させたいと思いますか。(それぞれ該当するもの 1つ に○)

	加入したい・ 加入させたい	加入したくない・ 加入させたくない	わからない	対象ではない・ 対象となる方がいない
ご自身	1	2	3	4
ご家族	1	2	3	4

【問 21 でいずれかを「1」と答えた方にお聞きします】

問 21-1 問 21 で、「加入したい・加入させたい」と答えた理由は何ですか。(該当するもの すべて に○)

1. 住んでいる地域を守る活動に参加したい (してもらいたい) ため	2. 知人が活動しているため
3. 非常勤公務員であるため	4. 報酬や手当が支払われるため
	5. 補償制度があるため
6. 火災をはじめ防災知識や技能を身につけられるため	7. 制服が気に入ったため
8. その他 ()	

【問 21 でいずれも「2」または「3」と答えた方にお聞きします】

問 21-2 問 21 で、「加入したくない・加入させたくない」「わからない」と答えた理由は何ですか。(該当するもの すべて に○)

1. 興味・関心がないため	2. 時間の都合がつかないため	3. 必要性を感じないため
4. 消防団に対して良いイメージがないため	5. 消防団についてよく知らないため	
6. その他 ()		

「スポーツや運動」についてお伺いします。

問 22 スポーツや運動に関心がありますか。(該当するもの 1つ に○)

1. 関心がある	2. どちらかといえば関心がある	3. あまり関心がない
4. 関心がない		

問23 あなたが、この1年間に行ったスポーツや運動がありますか。

※学校の体育の授業で行ったものや職業として行ったものは除きます。(該当するものすべてに○)

○ 比較的軽いスポーツや運動					
1. 軽い球技（キャッチボール、ドッジボール、バドミントンなど）					
2. 体操（ラジオ体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、筋トレなど）					
3. ウォーキング（散歩、散策、ペット散歩、意識的な階段のぼりなどを含む）					
4. ジョギング					
5. 軽い水泳（水中歩行・水中体操を含む）					
6. ダンス（フォークダンス、社交ダンス、フラダンス、民謡踊りなどを含む）					
7. ボウリング					
8. 室内運動器具を使ってする運動（ランニングマシン、エアロバイク等）					
9. ニュースポーツ（グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ、インディアカ、ゲートボール、ペタンク、スポーツ吹矢など）					
10. その他の比較的軽いスポーツや運動					
○ 比較的広域にわたるスポーツや運動					
11. スキー、スノーボード、スケート		12. ゴルフ		13. サイクリング、モーターサイクル	
14. マリンスポーツ（ダイビング、ウィンドサーフィン、ボートなど ※海水浴含む）					
15. スカイスポーツ（スカイダイビング、パラグライダーなど）					
16. 登山、ハイキング		17. 釣り		18. その他比較的広域にわたるスポーツや運動	
○ 競技的スポーツ					
19. 陸上、マラソン		20. 水泳		21. 柔道	
22. 剣道		23. 空手		24. 合気道	
25. 弓道、アーチェリー		26. 野球、ソフトボール		27. バレーボール	
28. サッカー、フットサル		29. テニス、ソフトテニス、ミニテニス		30. バドミントン	
31. 卓球		32. バスケットボール		33. ハンドボール	
34. 射撃		35. ボクシング、レスリング		36. ラグビー	
37. 少林寺拳法		38. 太極拳		39. その他競技的スポーツ（ ）	
40. スポーツや運動はしていない ⇒ 問23の2へ					

【問 23 で「1～39」のいずれかと答えた方にお聞きします】

問 23-1 問 23 で答えたスポーツや運動を行った日数を全部合わせると、この 1 年間に何日くらいになりますか。(該当するもの 1 つに○)

1. 週に3日以上（年151日以上）	2. 週に1日～2日（51～150日）
3. 月に1～3日程度（12～50日）	4. 3ヶ月に1～2日程度（年4～11日）
5. 年に1～3日	

【問 23 で「40」と答えた方にお聞きします】

問 23-2 スポーツや運動をやらなかった理由は何ですか。(該当するものすべてに○)

- | | | |
|--------------------|----------------------|-------------|
| 1. 仕事や家事・育児、介護で忙しい | 2. 身体が弱い、ケガや病気をしている | |
| 3. 体力の衰え | 4. 場所や施設がない | 5. 仲間がいない |
| 6. 指導者がいない | 7. お金がかかる、きっかけや機会がない | |
| 8. 嫌い又は興味、関心がない | 9. その他 () | 10. 特に理由はない |

「生涯学習」についてお伺いします。

「生涯学習」とは、生涯のあらゆる時期に行われる学習活動のことをいい、学校での教育をはじめ、家庭教育や社会教育のほか、社会人が職業の上で必要な知識・技能、各種資格取得のために行う学習、文化・スポーツ・レクリエーション・ボランティア活動や趣味のための学習など、広い学習活動です。

問 24 あなたは、この1年間に「生涯学習」をしたことがありますか。(該当するもの1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【問 24 で「1」と答えた方にお聞きします】

問 24-1 生涯学習の成果を地域や社会での活動に生かしていますか。または生かせると思いますか。(該当するもの1つに○)

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 生かしている (生かせる) | 2. どちらかといえば、生かしている (生かせると思う) |
| 3. どちらかといえば、生かしていない (生かせないと思う) | 4. 生かしていない (生かせない) |

問 25 今後、「生涯学習」をしてみたいと思いますか。(該当するもの1つに○)

※すでに「生涯学習」をしている方は、継続してみたいか否かでお答えください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. してみたいと思う | 2. どちらかといえば、してみたいと思う |
| 3. どちらかといえば、してみたいと思わない | 4. してみたいと思わない |

「がんに関する意識」についてお伺いします。

問 26 身近な人ががんにかかった人はいますか。(該当するものすべてに○)

- | | | | | |
|-------------|------------|--------|--------|-----------|
| 1. あなた自身 | 2. 配偶者 | 3. 親 | 4. 子ども | 5. その他の親族 |
| 6. 親しい友人、同僚 | 7. その他 () | 8. いない | | |

【問26で「1」と答えた方にお聞きします】

問26-1 市に力を入れて欲しいがん対策をお答えください。(該当するものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|---------------|
| 1. がんに関する相談やその支援・がんの早期発見 (がん検診) | 2. がんに関する情報提供 |
| 3. がん予防 (たばこ、生活習慣病対策など) | 4. 子ども向けのがん教育 |
| 5. アピアランスケア支援事業 (ウィッグや胸部補正具等の購入費用助成) | 6. 特にない |
| 7. その他 () | |

【問26で「2～7」と答えた方にお聞きします】

問26-2 市に力を入れて欲しいがん対策をお答えください。(該当するものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|---------------|
| 1. がんに関する相談やその支援・がんの早期発見 (がん検診) | 2. がんに関する情報提供 |
| 3. がん予防 (たばこ、生活習慣病対策など) | 4. 子ども向けのがん教育 |
| 5. アピアランスケア支援事業 (ウィッグや胸部補正具等の購入費用助成) | 6. 特にない |
| 7. その他 () | |

「買物環境に関する意識」についてお伺いします。

問27 キャッシュレス決済の利用状況をお答えください。(該当するもの1つに○)

- | | | | |
|-----------|------------|------------------|-----------|
| 1. よく利用する | 2. たまに利用する | 3. 今後利用したいと考えている | 4. 利用予定なし |
|-----------|------------|------------------|-----------|

【問27で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

問27-1 よく利用するキャッシュレス決済の種類は何ですか。(該当するもの1つに○)

- | | | |
|-------------|---------------------|------------|
| 1. クレジットカード | 2. 電子マネー (交通系ICを含む) | 3. QRコード決済 |
| 4. その他 () | | |

【問27で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

問27-2 キャッシュレス決済を利用する理由は何ですか。(該当するものすべてに○)

- | | | |
|------------|-----------------|---------------|
| 1. 支払いが簡単 | 2. 現金を持ち歩かなくて済む | 3. 割引・ポイントがつく |
| 4. その他 () | | |

問28 日頃よく利用する買物先をお答えください。(該当するもの1つに○)

- | | | |
|------------|------------------------|---------------|
| 1. 個人商店 | 2. スーパー・ドラッグストア | 3. コンビニエンスストア |
| 4. ネットスーパー | 5. 宅配サービス (生協・通信販売を含む) | 6. その他 () |

問28-1 問28で、「日頃よく利用する買物先」として答えた理由は何ですか。(該当するものすべてに○)

- | | | |
|-------------------------|------------|------------|
| 1. 自宅から近い (または自宅受取ができる) | 2. 値段が安い | 3. 品揃えが良い |
| 4. 駐車場がある | 5. 買物がしやすい | 6. その他 () |

市議会と議会だより「ギカイの時間」についてお伺いします。

あきる野市議会では、開かれた議会を目指し、市民の皆さんに市議会の活動内容を分かりやすく伝えるため、議会だよりを通常年4回（2月、5月、8月、11月）発行しています。

問29 議会だより「ギカイの時間」（年4回発行）を読んでいますか。（該当するもの1つに○）

- | | | | |
|----------|------------|-----------|------------|
| 1. 読んでいる | 2. 読むこともある | 3. 読んでいない | 4. 存在を知らない |
|----------|------------|-----------|------------|

【問29で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

問29-1 記事の情報量について、どう思いますか。（該当するもの1つに○）

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 多すぎる | 2. ちょうどいい | 3. もの足りない |
|---------|-----------|-----------|

【問29で「3」または「4」と答えた方にお聞きします】

問29-2 読まない主な理由は何ですか。（該当するもの1つに○）

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 手に入らない | 2. つまらない | 3. 関心がない |
| 4. その他（ | | ） |

問30 市議会のホームページをご覧になりますか。（該当するもの1つに○）

- | | | |
|---------|------------|--------|
| 1. よく見る | 2. 見ることもある | 3. 見ない |
|---------|------------|--------|

問31 市民に開かれた議会にするために、特に必要だと感じることは何ですか。（該当するもの1つに○）

- | | |
|--|----------------|
| 1. 議会報告会の開催 | 2. 議会ホームページの充実 |
| 3. 議会のインターネット配信の拡大（例：委員会の録画中継配信、本会議のLIVE中継等） | |
| 4. 若い世代向けの企画 | 5. その他（ |

「広報あきる野」についてお伺いします。

問32 「広報あきる野」を読んだことがありますか。（該当するもの1つに○）

- | | | | |
|---------|----------|-------------|-------------|
| 1. 毎回読む | 2. たまに読む | 3. ほとんど読まない | 4. 読んだことがない |
|---------|----------|-------------|-------------|

問33 情報発信ツールの多様化などにより、広報を月に1回の発行に変更している自治体が増えてきており、本市でも発行回数について検討しています。広報は、月に何回の発行が望ましいと考えますか。（該当するもの1つに○）

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 月に1回が良い | 2. 月に2回が良い | 3. どちらも良い |
|------------|------------|-----------|

「男女共同参画に関する意識」についてお伺いします。

市では、全ての人が、性別や年齢、国籍等にとらわれることなく、それぞれの個性や能力を十分に発揮し、家庭、地域、職場等のあらゆる分野に責任を持って参画するとともに、多様な生き方を自由に選択し、豊かさを享受することができる男女共同参画社会の実現を目指しています。

問34 男女共同参画社会とは、どのようなことかご存知ですか。(該当するもの1つに○)

1. 知っている 2. 言葉は聞いたことがある 3. 知らない

問35 次のような場で女性と男性が平等になっていると思いますか。各項目について、あなたの感じ方に最も近いものを選んでください。(それぞれ該当するもの1つに○)

あなたの感じ方 場 面	男性の方が 優遇されている	男性の方が 優遇されている どちらかといえば	男女平等である	女性の方が 優遇されている どちらかといえば	女性の方が 優遇されている	わからない
家庭生活の場	1	2	3	4	5	6
職場	1	2	3	4	5	6
学校教育の場	1	2	3	4	5	6
政治の場	1	2	3	4	5	6
法律・制度上	1	2	3	4	5	6
社会通念・習慣・しきたり	1	2	3	4	5	6
地域の活動の場	1	2	3	4	5	6

問36 あなたは、次の言葉について知っていますか。また、意味を知っていますか。(それぞれ該当するもの1つに○)

言葉の認識 について 言 葉	内容を含めて知って いる	言葉は聞いたことが ある	知らない
性的マイノリティ	1	2	3
多文化共生	1	2	3
LGBT	1	2	3
SOGI	1	2	3
ALLY	1	2	3
アウティング	1	2	3
ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	1	2	3

問37 現在の社会は、性の多様性に対する理解が進んでいると思いますか。(該当するもの1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------------|
| 1. 理解が進んでいる | 2. 多少理解が進んでいる | 3. あまり理解が進んでいない |
| 3. 理解が進んでいない | 5. わからない | |

問38 性の多様性に対する理解の促進や支援のために必要だと思う取組はどのようなものですか。(該当するもの1つに○)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 啓発リーフレット等の作成、配布 | 2. ホームページやSNSを活用した情報発信 |
| 3. LGBTの方との交流の場を設ける | 4. 相談できる窓口の設置 |
| 5. LGBTの方同士が交流できる居場所づくり | |
| 6. 性の多様性を理解するための学校教育 | 7. 市民向けの講習会や研修会による理解の促進 |
| 8. 行政職員や教職員等への研修の実施 | 9. 性の多様性を理解するための学校教育 |
| 10. 更衣室や制服など、性別での区別への配慮 | |
| 11. その他 () | |
| 12. 性の多様性に対する理解の促進や支援の必要はない | |

問39 あなたの身近に市内に暮らしている外国人はいますか。(該当するもの1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問40 あなたは、外国人と互いに認め合い、共に暮らす社会の実現についてどう思いますか。(該当するもの1つに○)

- | | | |
|-----------------|-------------------|--------------|
| 1. 重要だと思う | 2. どちらかといえば重要だと思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり重要だとは思わない | 5. 重要だと思わない | 6. わからない |

問41 多文化共生に対する理解の促進や支援のために必要だと思う取組は、どのようなものですか。(該当するもの1つに○)

1. 外国人住民に対し、日本の生活やルールや習慣、文化の違いなどについて周知する
2. 外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する
3. 外国人住民に対し、日本語の学習を支援する
4. 外国人住民の子どもに対する教育を充実させる
5. 日本人住民と外国人住民の交流の場をつくる
6. 企業に対し、外国人住民の労働環境の改善や意識啓発を促す
7. 日本人住民に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解の促進を図る
8. 外国人住民に対する医療を推進する医療・保険・福祉分野の施策を充実させる
9. 外国人住民に対する防災対策を推進する(防災講座、防災訓練、避難情報の伝達など)
10. 外国人住民が地域社会に積極的に参画するよう促す
11. その他 ()

最後に、ご意見やご感想についてお伺いします。

問42 あきる野市のまちづくりや行政サービスに関してのご意見や、あきる野市を住みよいまちだと感じる点などがありましたら自由にご記入ください。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

※8月13日(火)までに、『郵送』または『インターネット』のいずれか一方でご回答ください。